

【大好評！ ワックン
タオル刺しゅう中】



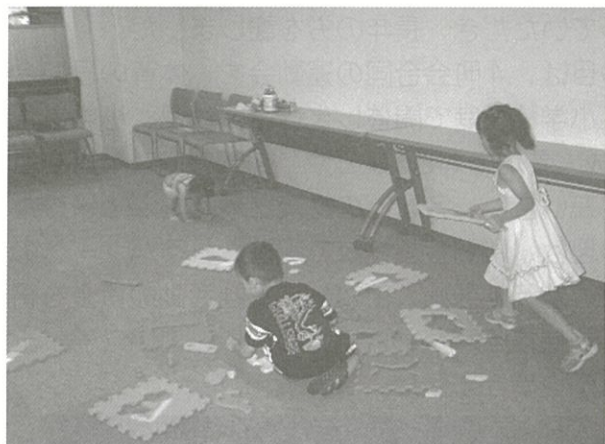
鶴見区と鶴見ワークステーションが共同開発したハンドタオル。区役所売店にて350円で販売しています。かわいくワックンの刺しゅうが好評で、よく売れています。

福祉 つるみ

題字：横井 久運氏

第38号 平成14年9月1日発行

編集・発行 社会福祉法人
横浜市鶴見区社会福祉協議会
鶴見区鶴見中央4-32-1
UNEX ビル5F
TEL. 504-5619
FAX. 504-5616
印刷 朝日オフセット印刷株式会社



仲良く遊ぶ子供たち

今、子育て支援活動が地域で活発に取り組まれています。7月の区民会議で「子育てと地域の役割」という講演が行なわれ、そこでは、お母さんと子供が集まれる「場」づくりの必要性が提唱され好評でした。この子育てサポートシステム事業は「場」づくりとは違いますが、地域での子育て支援という役割を担っていると思います。

子育てサポートシステム この一年を振り返って

鶴見区の子育て支援

年10月の開始から一年が過ぎました。利用会員は、少しずつ増加していますが、提供会員がまだ不足しており、お急ぎでない方にはお待ちいただいている状況です。

提供会員は、地区リーダーの方を中心にいろいろな勉強会を行っています。つい最近では日本赤十字社の幼児安全法講習会で、とっさの時に対応できる、応急手当の方法を学びました。ストックキングを使用した止血法や、乳幼児の心肺蘇生法などを学び、参加者の方からは好評で、もう一回の開催を望む声があるほどでした。また、簡単にできる軍手人形の作り方・遊び方を学ぶ講習会なども行いました。一緒に参加したお母さんも楽しく遊ぶことができました。

現在、活動されている会員の声をご紹介します。

利用会員のAさん

地区リーダーの方に連絡を入れて提供会員を紹介してもらいましたが、事前打ち合わせでこちらの希望等を話し合っており、双方が納得してからの活動なので、安心して子どもを預けることができました。

提供会員のBさん

今は、希望の提供の方が見つからず、待ちの状態です。近辺に提供会員がいないのもっと提供会員が増えてくれることを望みます。

提供会員のCさん

子どもが好きで、なにかお役に立てればと会員になりました。今活動継続中ですが、お子さんに会つのが楽しくて、子どもから活力



7/20の入会説明会

をいただいています。

提供会員のDさん

活動継続中です。自分の子どもより年上のお子さんを預かりしていますが、子育ての勉強になっています。

9月以降の日程

9月21日・11月16日・12月21日・1月18日・3月15日 全て土曜日
午前10時30分
申込先 045-504-5619
(区社協 熊倉)

よこはまチャイルドラインのや
くそく

- ・秘密は絶対誰にももらさない
- ・名前は言わなくていい
- ・イヤだと思ったらきつてもいい
- ・どんなことでも一緒に考える

【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人 チャイルド
ライン支援センター事務局
(開局時間 月～金 10時～17時)
TEL 03-3437-1922
FAX 03-3437-1922
東京都港区芝公園2-6-8
日本女子会館1F
TEL&FAX 03-3437-1922



編集委員

横井 久運 横山 正志
山田 敏雄 石川 晴彦
簡 照子 椎橋 陸男
池田 誠司 青木 洋子
田中雄二郎

*福祉つるみへのご意見・ご感想を
お待ちしております。
(TEL 504-5619 FAX 504-5616)

区社協からのお知らせ



◆ボランティアセンターが土曜日 も開館します！

4月よりボランティアセンターが土曜日にも開館することになりました。

ボランティアセンターでは、ボランティアに関するさまざまな相談の受付をしています。

ボランティア活動をしたい方の登録や活動の紹介、ボランティアを依頼したい方のご相談等を受けています。

土曜日が休みの学生さん・社会人の方等ボランティア活動に興味のある多くの方々の来館をお待ちしております。

*開館日 月曜日～土曜日

(年末年始・祝日は除く)

*開館時間 8時45分～17時15分



◆権利擁護事業スタート！

これまで、横浜市社会福祉協議会「横浜生活あんしんセンター」において全市対象に実施されてきた権利擁護事業ですが、この度鶴見区社協でも新たに展開することになりました。

鶴見区で生活する高齢者並びに障害のある方を対象に、生活の困りごとに関する相談を受け付けたり、契約による様々な援助を行います。

また訪問活動を通して、福祉サービスが円滑に利用できるような情報提供や事業者並びに区との調整、預貯金通帳をお預かりして生活費をお届けする金銭管理等を行い、生活の見守りを行います。

◆車いす進呈 当選結果報告

車いす進呈の抽選結果を報告します。応募多数のため当初5台のところ12台を進呈しました。

当選者の声

祖母のために応募しました。祖母はとても喜んで庭に出たり外出時に利用しています。

ご相談・お問い合わせ等は、区社会福祉協議会までご連絡下さい。

18才までの子どもがかけがえのない
チャイルドライン
YOKOHAMA
045-342-0777
どんなことでもいっしょにはなしてね！
毎日24時間 24時間受付
24時間受付 24時間受付

よこはまチャイルドライン
のやくそく

- ・ひみつは絶対にだれにももらさない
- ・なまえはわかっていい
- ・いやだと思ったらきつてもいい
- ・どんなことでもいっしょにがんばる

協力 横浜市社会福祉協議会 警察署

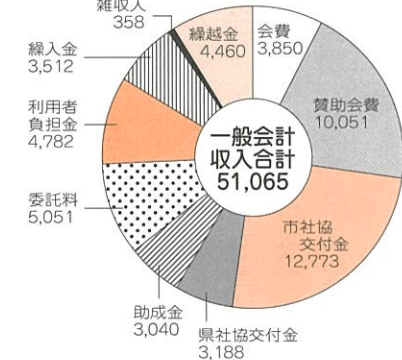
収入支出決算総括表 (単位：円)

合 計 名	収 入 合 計	支 出 合 計	差 引 残 額
一般会計	51,065,247	46,322,135	4,743,112
共同募金配分金特別会計	18,437,803	16,265,670	2,172,133
善意銀行特別会計	21,103,839	21,103,839	0
福祉基金特別会計	944,587	944,587	0
福祉総合相談事業特別会計	1,289,251	915,796	373,455
合 計	92,840,727	85,552,027	7,288,700

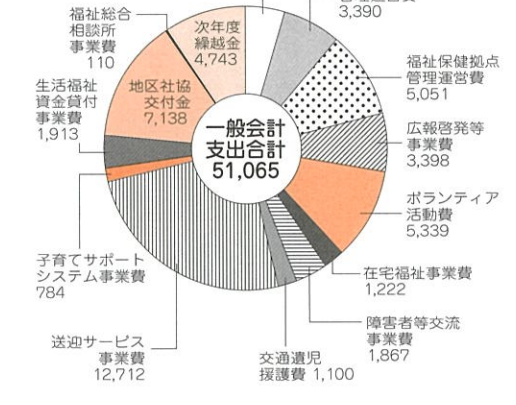
総合貸借対照表 (単位：円)

資 産 の 部		負 債 ・ 純 財 産 の 部	
流動資産	140,872,333	流動負債	4,657,933
預 金	76,427,869	未払金	4,657,933
有価証券	64,000,000		
小口現金	38,657	基金	15,372,881
未収金	405,807	基本財産基金	3,000,000
		運用財産基金	12,372,881
固定資産	15,372,881	積立金	128,925,700
基本財産	3,000,000	繰越金	7,288,700
運用財産	12,372,881		
合 計	156,245,214	合 計	156,245,214

〔 収 入 〕 (単位：千円)



〔 支 出 〕 (単位：千円)



※物品をお寄せいただいた方

- 阿佐 貞太郎様(6) 竹村 タカ様(2)
工藤 高之祐様(6) 白 蓉子様(5)
戸井田 啓治様 金丸 邦久様
貴田 米吉(2)様 平井 洵子様(4)
兼子 康様 兼子 ハル様
中川 きよの様 なすなの会様
新日本自動車学校様
横浜鶴見ライオネスクラブ様
株式会社ニートヨー様
鶴見薬剤師会様
小野 芳太郎様(3) 樋高 禮子様
社交ダンスサークル華の会様
潮田町二丁目町会様
綾小路 雅様 三十路会東京支部様
有限会社ユタ力様 浅海 武夫様
小野 梅子様(2) 井出 ミサ様
天野 和雄様 やまみ会様
コフかながわ鶴見コフケーション実行委員会様
コフかながわ鶴見ふれあいまつり実行委員会様
社団法人日本盆裁協会横浜東支部様
五神 嘉子様 鶴見区民踊愛好会様
ひまわり会様 匿名(2)
*物品をお寄せいただいた方
横浜鶴見ライオネスクラブ様
吉兆グループ様(6)
(助)郵政互助会関東地方本部あなただの郵便局様
鶴見薬剤師会様 名取 福造様
新鶴見小学校様
手話サークルあいつえお様
- 鶴見区自治連合婦人部様
鶴見懇話会様
TEPCOふれあい寄席事務局様
平安高校生徒会様
健康体操同好会様
TSURUMI青春フリーマーケット実行委員会様
高瀬 恒雄様
横浜鶴見西ライオンズクラブ様
河西 英彦様
横浜火力発電所トウニーチャリティコンベン事務局様
西脇 和子様
矢向地区センター社交ダンスグループ連絡会様
新野 由美子様
末吉地区センターチャリティダンスパーティー様
本山 邦夫様
鶴見中央地区社会福祉協議会様
2002フラダンスフェスティバル様
小林 義邦様 小嶋 七郎様
神奈川土建横浜鶴見支部第25回住宅デー様
第一回ふれあい健康まつり実行委員会様
TSURUMIふれあい祭実行委員会様
鶴見区老人クラブ連合会様
山友工業株式会社様
東平 安尚様

いつでも
寄付を
承っています。



駒岡地区社会福祉協議会活動紹介

駒岡地区は、ニッ池、上町会、中町会、下町会の4町会から成り立ち、多くの会社地域、商業地域、住民地域で形成された町で著しく発展を遂げたところです。平成14年3月には、駒岡地区センター、駒岡地域ケアプラザが開設され、今迄の活動を基に、様々な分野で、大いなる地域福祉の活躍が促進されるものと確信しています。

さて、地域内における活動の一つ目は、社会を明るくする運動で学校が夏休みに入った翌日、保護司を中心に警察、学校、親たちが集い、子ども達の健全なる育成について真剣に話し合いを行いました。

二つ目は、夏の夜の愛のパトロールです。夜8時から約1時間、町内会の役員関係者を中心に、青少年の非行化を未然に防ごうと危険箇所を巡回して責務を果たしています。

三つ目は、駒岡小学校において子ども達と一緒に昔の遊びについての話し合いです。実際に作る手づくり玩具に目を輝かせ、興味深く取りくむ姿に感銘を覚えながら、ふれあい昼食会に参加したことが印象深く残ってます。



四つ目は、敬老慰安会の開催です。町会役員をは

じめ各理事、婦人部、青年部、子ども会の手助けにより高齢者を招いての集いです。食事をしながら、駒岡囃子保存会によるお囃子で幕を開け、余興として、福岡歌二師匠のアコードオン漫談と、東家浦太郎師匠の浪曲を傾聴し、敬老者同士の談笑に一時を過ごしていただき、長年の労を謝しました。

五つ目は、4町会合同の運動会を、体育の日に合わせて小学校校庭で開催しました。幼児、小中学生、青年、成人参加のもと、なごやかな気分で優勝旗を目指して競い合い、各町との交流と親睦を深めました。

六つ目は、駒岡養護学校で開催されるバザーへの応援と、駒岡地区婦人部が地域福祉活動の資金を得るため開催するバザーへ協力参加し、大いに盛り上がり感動を受けました。



今年は待望の駒岡地区センター、駒岡地域ケアプラザが同時開設したので、駒岡地区連合と協力し、9月8日地区センターに於いて、当センター開設に相応して敬老慰安会を実施すべく、実行委員会を発足しその準備にとりかかっています。今後も不変的な活動を心がけてまいります。

(駒岡地区社会福祉協議会 会長 小山和雄)

*次回は、鶴見中央地区社会福祉協議会です

老人クラブ活動紹介
「人生の生きがい」

矢向地区は鶴見区の北部に位置し、交通手段は電車がバス利用になります。JR矢向駅が便利です。が階段の昇り降りがづらい等で、バス利用が多いとの話があります。臨港バスも、一昨年より矢向から川崎へ行く場合、敬老特別乗車証が使用出来るようになりました。これには矢向地区会長さん達のご努力がありました。老人達は感謝しております。

次に老人会の生きがいとしての年間事業を紹介します。主な事業は4つあります。カラオケは毎週木曜日13時より町内会会館で、他に地区センターでも行っています。最高91才の方も参加しています。ゲートボールは毎日朝8時〜10時まで、また月1回は交流試合にも参加しています。会員は最高91才、平均84才の方々です。歩こう会は春秋2回意見集約で決めます。旅行については、送迎バスのある温泉ホテルに決めています。参加費も1泊2食一万円〜一万五千元程です。会費は年間12000円で、その他町内会より助成金、役所の助成金、寄附金等で運営しています。駅前の灰皿清掃、公園2ヶ所清掃も街の美化のため、老人会の仕事となっています。

矢向6丁目八千代会
大島 定一郎

ボランティアコーナー

◆“鶴っこ” ショップ、オープン！

地域作業所 虹でいよいよ“鶴っこ”ショップがオープンしました。

“鶴っこ”ショップとは、鶴見区内にある障害者地域活動ホームや地域作業所等で作られている自主製品を販売するお店です。地域の方々との交流の場として、また販売をとおして作業所同士の仲間づくりができればと思います。皆さん、是非お越しください。

場 所 鶴見中央1-8-2

(JR鶴見駅連絡通路出口階段おりてすぐ右)

時 間 10:00~17:00

TEL502-5213

(火・土・日は休み)



この看板が目印！

◆好きになりそう、下末吉

私達の作業所「一歩舎」が移転して1年がたちました。そんなとき、第二末吉会の青年会と子供会「津久井浜じゃがいも掘りとバーベキュー」という行事へのお誘いがあり日頃は町の中で暮らしている子供たちや障害者にとって広大なじゃがいも畑での芋掘り体験は格別のものとなりました。土の匂いの中からのじゃがいもを掘り出した時の感動、海辺でのバーベキューの味わいなど、エネルギーいっぱいの子供たちとの出逢いはこの町の大人の方たちがいかに深い愛情を注ぎ町ぐるみで子供を育てておられるということがわかりました。私達は下末吉2丁目に移転してよかったと感じる今日この頃です。(一歩舎所長 山本暁子)

◆自然館、ボランティア募集！

精神障害者の地域作業所です。

メンバーと共に昼食づくり、パン・クッキーづくりのお手伝いをしていただける方を募集しています。

地域作業所 自然館 (中澤・小川)

元宮1-9-38 TEL 045-583-7730

◆YOKOHAMAつるみ童謡の会より

<クローバーコンサート・平和病院>

観測史上初めてお彼岸に桜が満開となった3月23日(土)、平和病院デイケアへのコンサート訪問となりました。皆さんお待ちかね、野畑会長の挨拶、菊池先生のピアノ伴奏で「鶴見の歌」からはじまり、数曲の春の歌、箱根八里、水野さんのすばらしいソプラノで「早春賦」とプログラムもすすみます。歌に合わせて手を打つ人、体で調子をとる人、一緒に口ずさむ人、皆さんつるみ童謡の会の訪問を歓迎して下さいました。また丁度お見舞いに訪れ、歌声が聞こえたのでと、席に着かれた方々もおられました。アンコールは「鶴見の歌」、最後に皆さんと一緒に「夕焼け小焼け」を合唱し、またの訪問を約束して散会となりました。

<クローバーコンサート・新鶴見ホーム>

平成14年5月22日、新鶴見ホームへ童謡の会と潮風合唱団のメンバー35名で訪問、入居者50名、職員20名、計105名の大合唱を行って参りました。

(野畑雄一・渡辺和子)

鶴見つ子

昭和の初め、旧東海道鶴見橋際で私は生れました。小学生時代のある夏休みに母の故郷が富士川の近くにあり、遊びに行った時の事です。昼も夜も川の水は常に川上から川下へと音を立てて流れているのです。一級河川でありながら鶴見川と富士川では大変な違いがあるのに気付いたのです。川幅は何倍もあり、水は透明、鮎釣りの有名な処でした。比べて鶴見川は水は濁り、雨季台風シーズンには堤防を越す程の濁流が渦を巻き、押し寄せ、毎年の様に水害に見舞われる様な処でした。しかし天候が回復し、下げ潮になれば、JRの鉄橋の処には淀み(鯉が淵)があり鯉釣りをのんびりと楽しむお年寄、鮎釣りをしたり、玉網を持ってハゼやエビを掬う子供達の姿が見られました。四つ手網で、春はシラス、カレイ、秋にはイナ、セイゴなど海の小魚を獲る姿が毎日の様に見られました。夏休みともなれば子供達が集まり橋から飛び込み、泳いだり楽しい処でした。この様な環境で育った私、複雑な動きの鶴見川に似て育ったのが、のんびりと、慌てず、騒がず対応する様になったのかも知れません。母校である鶴小の卒業式には元担任であった先生からの祝電には「素直で元氣な鶴見つ子、前途洋々たる人生」等と、毎年出席する度に耳にし、卒業生と共にうれしく思えるのです。

サ ル ビ ア



平成13年度鶴見区社会福祉協議会事業報告

平成13年度は、鶴見区地域福祉活動計画の実施計画に基づいて、各種事業を実施しました。以下、区社会福祉協議会の重点・新規事業を中心に、平成13年度事業の概要を紹介します。

地区社協活動の充実強化と支援

地域福祉活動の充実・強化のため、活動の拠点である地区社協が自主的に効果的な組織活動ができるよう次の事業を支援しました。

・ひとり暮らし高齢者等会食事業
・配食サービス
・ミニデイサービス

・福祉保健講座（7地区で実施）

・子育て支援事業（7地区で実施）
・敬老行事その他各種行事への高齢者招待

・その他各種地区社協事業
小地域活動拠点の支援として、

高齢者会食サービス用の備品整備を3地区社協に行いました。

地域で行う各種の行事や事業120件に出席し、地域住民の福祉への理解と促進を図りました。

福祉理解のための広報啓発活動

14年2月16日(土)鶴見公会堂ホールで、第20回鶴見区社会福祉大会を開催しました。この大会で区内の福祉功労者の顕彰と講演を行い、地域住民の福祉の意識啓発を図りました。

福祉広報活動として、広報紙「福祉つるみ」を年2回発行し、全戸配布を行いました。広報紙「区社協だより」を年5回発行し、自治会・町内会を通じて回覧しました。その他、区社協パンフレット等の配布等により、広報啓発を行いました。

ました。

福祉啓発講座等の開催

13年11月15日(木)にボランティアフォーラムを開催しました。今回は、基調講演とパネルディスカッションを行いました。

在宅障害者の通院、社会参加活動等のため、並びに小中学校における福祉教育の体験講座のために、車椅子を93回貸し出しました。

ボランティア活動推進事業

ボランティア研修会は、区社協で実施するほか、地域団体・グループ等の研修会・講演会等を支援しました。

主なものとしては、この夏、本気でボランティア2001、サマーフレンド事業、ボランティアミニ体験講座、障害児保育ボランティア講座、学校の福祉講座等です。ホームヘルパー養成研修（3級課程）を1回実施しました。

送迎サービス事業については、高齢者や障害者等で、通常の交通手段での移動が困難な方を対象に、福祉保健医療サービス等の利用または社会的活動のための外出を支援し、福祉の向上を図ることを目的として実施しました。

当事者活動の支援と連携の強化

障害児者団体の連携の強化及び自立促進を図るため同連合会を通

じて加盟33団体に対して助成を行いました。ふれあい運動会、障害児者バスハイク、障害児余暇支援事業を共催したほか、同連合会の自主事業に助成しました。

高齢者福祉事業としては、地域敬老事業助成として、敬老月間（9月）の各地区行事に対して支援しました。

高齢者会食・配食実施団体助成として、14地区社協・6団体に助成しました。

児童福祉事業としては、学童保育事業助成を12団体に行いました。また、サマーデイキャンプを実施しました。児童と高齢者との交流事業や、子育て支援事業の助成を行いました。

福祉総合相談

福祉総合相談は、区民の生活上のあらゆる心配ごとの相談に応じるもので、弁護士、民生委員児童委員が毎月2回相談・援助を行いました。相談時間帯のみ、電話相談も行っています。

福祉保健活動拠点

住民参加による地域福祉活動を積極的に進めていくための福祉保健活動拠点として、66団体の利用登録があり、交通至便で関係者から喜ばれ、活用されています。